

# 大気中の化学物質環境実態調査(環境省委託)

渡邊剛久 内藤季和 市川有二郎

## 1 はじめに

本調査は環境省(環境保健部環境安全課)が化学物質による環境汚染の未然防止をはかるため、全国の自治体に委託し、環境中の化学物質の濃度レベルを把握することを目的として実施している。従来は黒本調査と呼ばれていたが、2005年度からエコ調査という呼称になっている。

なお、千葉県では、2001年度から初期環境調査、詳細環境調査、POPsモニタリング調査の3種類の調査を受託していた。2014年度は初期環境調査及びPOPsモニタリング調査(大気)を受託した。

## 2 方法

### 2・1 調査対象物質及び調査地点

2014年度に提示のあった調査対象物質は、初期環境調査は7物質、詳細環境調査は5物質、POPsモニタリング調査は13物質群である。このうち当センターでは、初期環境調査では、酢酸2-メトキシエチル及び*N,N*-ジメチルアセトアミドを選定し、採取を行い、酢酸2-メトキシエチルについては分析まで行った。POPsモニタリング調査は、13物質群のPOPsを対象とし、当センターが試料採取のみを行い、環境省委託業者が分析を行った。

調査地点は、POPsモニタリング調査については、従来どおり市原松崎一般環境大気測定局(市原市立養老小学校敷地内)である。初期環境調査については2010年度から調査対象物質の事業場からの排出量データを元に調査対象物質排出事業場周辺で行うことになり、今年度は近傍に当該事業場がある君津坂田一般環境大気測定局(千葉県君津市)で試料採取を行った。

### 2・2 調査期間

調査期間は、初期環境調査については2014年12月8日から11日に試料採取を行い、それぞれ24時間連続採取を3回繰り返した。POPsモニタリング調査については、今年度から暖候期のみを試料採取となり、2014年9月25日から10月2日に1週間連続で試料を採取した。

### 2・3 分析方法

分析方法は化学物質分析法開発調査報告書に準じて行った。以下に概略を示す。

#### 2・3・1 初期環境調査

[酢酸2-メトキシエチル]:アセトンで洗浄した捕集管(Sep-Pak PLUS AC-2)を用いて0.7L/分の流量で約24時間連続採取し、アセトンで抽出し、内部標準物質を添加してGC/MS(Agilent6890/5975)によりSIM法で分析した。

[*N,N*-ジメチルアセトアミド]:メタノールで洗浄した捕集管(InertSep SlimJ RP-1 for AQUA)を用いて0.3L/分の流量で約24時間連続採取を行った。

#### 2・3・2 POPsモニタリング調査

[POPs(13物質群)]:捕集材(石英繊維ろ紙/ポリウレタンフォーム/活性炭フェルト)を用い100L/分の流量で1週間連続採取を行った。

## 3 調査結果

分析結果及び調査期間を表に示した。酢酸2-メトキシエチルはすべての試料で不検出(検出下限値6.9ng/m<sup>3</sup>)であった。*N,N*-ジメチルアセトアミド及びPOPsモニタリング調査の結果は本稿執筆時点で環境省委託業者から報告されていない。

表 調査対象物質，調査期間及び結果

調査名	化学物質名	調査期間	測定値 (ng/m <sup>3</sup> )
初期環境調査	酢酸2-メトキシエチル	2014/12/8～12/9	nd
		2014/12/9～12/10	nd
		2014/12/10～12/11	nd
	N,N-ジメチルアセトアミド	2014/12/8～12/9	未発表*
		2014/12/9～12/10	未発表*
		2014/12/10～12/11	未発表*
大気のモニタリング調査 (POPs)	POPs 13物質群	2014/9/25～10/2	未発表*

\* : 2015年10月1日現在。今後、[環境省ホームページ](#)に掲載される予定